

宮崎海岸の紹介

宮崎海岸



約400kmにわたる宮崎県の海岸のうち、県都宮崎市前面に位置する直線状の砂浜海岸が「宮崎海岸」



- 地先名称は、
- ・大炊田(おおいだ)海岸
 - ・石崎浜
 - ・住吉海岸 など

宮崎海岸の全景



ひとつせがわ
一ツ瀬川

ひとつせがわ
一ツ瀬有料道路

多様な利用



アカウミガメの産卵



サーフィン



コアジサシの営巣



漁業



釣り

昭和41年(今から47年前)



運動会やレクリエーションの開催、遠足場所の定番





昭和50年代後半には侵食が
顕在化し、コンクリート護岸が
建設され始める



残りの自然浜も順次浜崖化
→コンクリート護岸建設



護岸の前面の砂浜がなくなった
箇所も確認されている
(平成20年)



護岸の端部が裏から崩落
(平成17年)

短期的な侵食



約2ヶ月



約3年

砂浜の回復に向けて

市民談義所の様子



※市民から約 1,600 もの
意見がありました



【共通の思い】

→ 安全第一の上で、できるだけ自然の砂浜を残したい

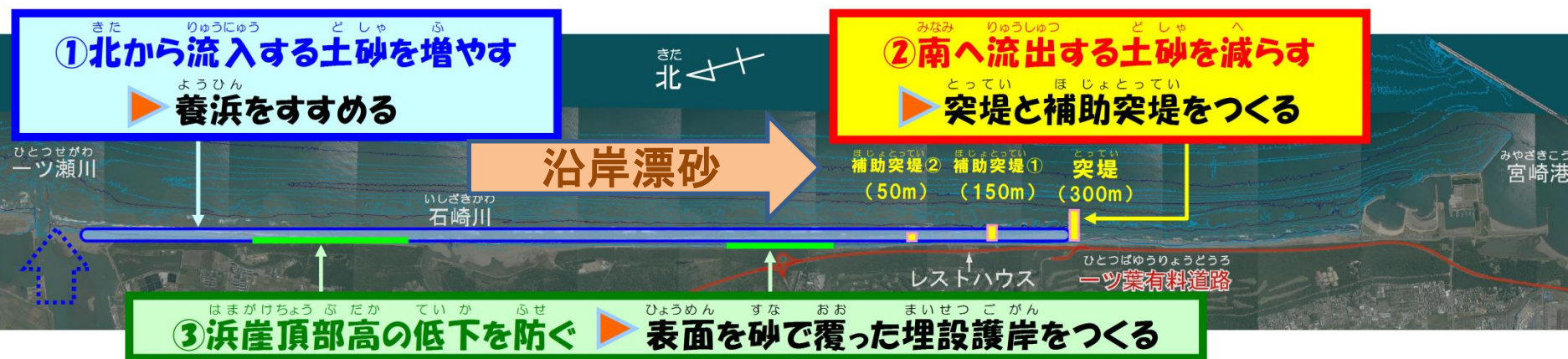
砂浜を回復するための対策

【防護目標】

背後地（人家、有料道路等）への越波被害を防止すること



砂浜を回復し浜幅50mを確保する



- ① 養 浜：漂砂上手や自然浜区間を中心に実施
- ② 突 堤：流出する土砂を漂砂下手で制御
- ③ 埋設護岸：自然浜区間の砂丘の崩落を防止

→ サンドパックの適用を目指す